

-日本ユネスコ国内委員会第515回運営小委員会-

これからの時代におけるユネスコ活動の推進等について
ユース視点からの課題と解決策（案）
—教育、科学を事例に—

次世代ユネスコ国内委員会 小林、沖田

2023年7月14日

ユース-ユネスコ関連団体/個人との連携を促進する環境づくり&ユースにおけるESDの認知度を向上し、ユースのESD活動促進を目指す

現在の姿

ユースとユネスコ関連団体間のアクセスが悪い

- ユース（特に中高生）にとって、地域ユネスコ協会等のユネスコ関連団体/個人とつながることが「ハードルの高いもの」となっている。
- ユース（特に中高生）が課外活動に取り組む際、学外機関とつながろうと試みても、学校・市役所などを通さないと話を進めることができないケースがあった。

ユースにおけるESDの認知度が低い

- ユネスコスクールに限らず、多くのユースにとってESDを知る機会が限定的である。



あるべき姿

ユースとユネスコ関連団体/個人が連携しやすい環境が整備されている

- ユースとユネスコ関連団体/個人の情報が相互に交換可能かつ、連携しやすい環境が整備され、ユースのESD活動が活性化する。
- 上記環境整備に向け、ユネスコ未来共創プラットフォームのポータルサイト上に「ユースのアクセスを特に歓迎する団体のリスト」を整備する。（現在準備中）

ユースがESDについて知り、考える機会がある

- ユースにおけるESDの認知度を向上させ、ESDに関心のあるユース/既に多様な分野において活躍するユースの新規参画を促す。

あるべき姿の実現に向けた課題（仮説）

1. ユース-ユネスコ関連団体がつながる機会が少ない
2. ユースがESDを主体的に考える機会が少ない

その解決策（案）

ユース主体の全国ESDアイデアソン開催

- ユースがESD活動の内容を考え、教師やユネスコ協会・NPOなど多様なステークホルダーに提案する。参加者はユネスコスクール所属者に限らず募集をし、ESD認知度の向上を目指す。ユース同士のコミュニティ作りやユネスコ関連の団体/個人とのリアルな交流を行うことで連携のハードルを下げるきっかけにする。

科学分野においては、多様なステークホルダーとの連携により、「専門的」「ニッチ」なイメージから人々の生活にとって「身近なもの」として広く認識してもらうことが必要ではないか

現在の姿

関わるステークホルダーが固定化されており、関係人口が増やせていない状態

- 科学分野の中でも、ジオパークやエコパークは他組織との連携を進めているものの、連携先は共通のトピックに関心を持つ特定の主体に固定化されており、分野や業態が異なる新しい主体（例：民間企業や別分野の市民組織）との連携は十分であるとはいえない。
- 科学分野の取り扱う領域は、一般市民や民間企業からするとやや専門的な分野であることから、これまで関わりのない主体にとっては「専門家集団」「ニッチな領域」「門外漢は関わりにくい」といった印象がある。



あるべき姿

多様なステークホルダーとの連携により、活動が広く大衆に開かれ、認知されている状態

- 既にコネクションのある専門家や組織だけでなく、“ユネスコ”や“ジオパーク”、“エコパーク”といった領域にこれまで関わりのなかった一般市民や民間企業、市民組織等に対してユネスコ関連組織側からのアプローチによって、多様なステークホルダーとの連携が積極的に進み、各組織の事業規模拡大や、新しいプロジェクトやプログラムの創出が促されていく。
- 組織や民間企業との連携により、科学分野の対象領域が人々の生活にとって「身近なもの」としての認知が広がり、大衆からの認知度向上により関係人口が増加していく

あるべき姿の実現に向けた課題（仮説）

現場レベルは足元の活動実施に手一杯であり、新たな主体との連携を進めるリソースがない

- 組織の高齢化及び資金面・人材面の慢性的なリソース不足により、足元の活動を越えて新たな主体との連携やプロジェクトの実施を遂行する余力が残されていないのではないかと。新しい主体との連携は慣習やコミュニケーションの面で労力が大きくかかるため、余力のない組織は着手しにくい。

その解決策（案）

「新たな連携の促進」をミッションとした人の派遣

- 新しい主体との連携及び事業展開は各組織に任せきり又は資金投入（補助金等）だけでは難しく、「新たな連携の促進」をミッションとした人材を各組織に派遣し、新しい主体との連携促進に向けたコミュニケーションやプログラム・プロジェクトの企画・運営を担当することは一つの打ち手ではないか。

次世代ユネスコ国内委員会

委員長

小林真緒子

kmaoko0524@gmail.com

副委員長

沖田広希

hirokiokita0713@gmail.com